

そのとき、どう動くか？
地震発生を想定した防災訓練を実施しました

1月15日(木)、午前9時に東南海・南海地震(震度5弱)が発生したことを想定し、職員防災訓練を実施しました。直ちに災害対策本部を設置し、参集した職員が各所へと向かいました。海岸部の防潮ゲートの閉鎖や防災倉庫の資機材の点検、避難所の被害状況の確認などの初動訓練を迅速に行いました。

また、16日(金)には、町内幼稚園や小中学校でも地震を想定した防災訓練を実施しました。播磨小学校では自主防災組織、日赤奉仕団による避難所開設と応急炊き出し訓練、消防署と本荘分団による放水消火訓練が実施されました。



▲災害に備えて訓練しました

播磨町ロードレース大会890人が出場しました

雪雲を通り抜けてきたような冷たい空気の中、1月25日(日)に第31回播磨町ロードレースが開催されました。多くのベテランランナーや高校生が参加する一般の部では、西脇工業高等学校と須磨学園高等学校の陸上競技部の招待選手が出場し、レースを盛り上げていました。また、歯を食いしばって力走する小学生の部では、沿道から大きな声援が飛び交っていました。ファミリーの部には、ゲストランナーの小島初佳選手も出場しました。「去年まで、子どもよりも私のほうが早かったのに、今年は負けてしまいました」と悔しがっている人もあり、参加者は思い思いのレースを楽しんでいました。



ふるやの冬の風物詩「とんど」を再現

1月18日(日)、郷土資料館の行事として日本の昔からの習慣「とんど(左義長)」を催しました。正月飾りや書き初めなどを燃やして、一年間の無病息災と書道などの上達を願う風習ですが、最近は見かけられることが少なくなっています。竹のはしける音を知らない子どもたちやその親世代約80人が集まり、会場となった大中遺跡にちなんで、赤米こはんを炊いて冬の風物詩を堪能しました。



▲初めてとんどに参加した子どもたち

平成20年度播磨町スポーツ賞受賞者の皆さん

町のスポーツ振興に功績のあった方や、権威ある大会において優秀な成績を収めた選手及び指導者の表彰式が2月15日(日)、播磨町健康いきいきセンターで行われました。受賞者は次の方々です。

Table listing award winners by category (Athletics, Soccer, Tennis, etc.) and their affiliations.

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

3月の放送予定(収録場所 加古川市)

前半 3月2日(月)~15日(日)

- 特集 ダンボールコンポストによる生ごみの減量(稲美町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 3月16日(月)~4月5日(日)

- 特集 高砂児童学園からのお知らせ(高砂市)
- ゆうゆうライフ(高砂市)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
- 火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
- 土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

わんぱくはりまっ子



くろいし 敬太くん(4歳) かんた 寛太くん(1歳)
宮北
兄弟仲良く元氣いっぱいです!
お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

春を思わせる温かい日、役場から大中遺跡公園まで歩く機会がありました。喜瀬川沿いを歩くと、たくさんのおーキングをしている人と出会います。水際に時おり、鳥の姿も見かけます。住宅の庭の木々の間に、メジロが数羽さえずりながらたわむれていました。大遺跡では、梅の花が咲きはじめていい香りを漂わせていました。もうすぐ春です。帰り道は、住宅街の間を歩いて帰りました。道端に小さな賽の神の祠を見つけ、得したような気分になりました。私は日ごろ、車で移動することが多いのですが、歩くことは好きです。もっともっと歩いてこのまちを知りたいと思います。(宮)

いいね! はりま

町政レポ No.26



▲はりま病院の荒尾理事長と記者発表をしました

立春も過ぎ、春の足音がすぐそばに聞こえてくるような「梅春」の季節を迎えました。町内のあちこちで木々や草花の芽吹きを楽しみながら、来る春を待ちたいですね。

1月30日、土山駅南町有地への病院誘致を公表しました。「特定医療法人社団 仙齡会はりま病院」との間で1年以上にわたって協議を重ねてきましたが、この度合意に至ったことから発表をいたしました。(詳細は前ページ) 少子高齢化が急激に進む中、全国でも医師不足による医療空白地域が生じてきています。災害時のみならず普段からの安全・安心のまちづくりの一環として、入院施設と二次救急の実績を持つ病院に町有地を有償でお貸しすることは、住民生活の向上に寄与するものと思っています。

播磨町の成人式を1月11日に挙行了しました。中央公民館の大ホールは当日、初々しい背広姿と華やいだ晴れ着姿の新成人であふれんばかりでした。多くの新成人にご参加いただいたこととてもうれしく思っています。最初少しざわついたところもありましたが、運営委員の手で滞りなく式典は進行しました。新成人への歌のメッセージとして歌手の「奥野勝利」さんが登場し、ギターとともに自作の歌を歌い出すと、会場は静まり返り、その歌声に聞き惚れました。人々の心に響く言葉で綴られた歌詞とメロディーに、改めて歌の持つメッセージ性を感じました。ことぶき大学を聴講させていただきました。講師は「兵庫県生きがい創造協会」の井上正敏先生です。「超高齢化社会を生きる」と題してのお話は分かりやすく、大変示唆に富んだお話でした。同時にことぶき大学生の向学心と聴講姿勢にも感心しました。新入生も募集していますが、卒業生の方々もOB会でのさらなる学習とご活躍を期待しています。

播磨町長 清水ひろ子